

平成29年7月

# 九州北部 豪雨

朝倉市災害記録誌

平成31年3月 福岡県朝倉市





## 発刊にあたって

朝倉市長 林 裕 二

平成 29 年 7 月 5 日、誰も経験したことのないような大雨は、のちに「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」と名付けられ、朝倉市に未曾有の被害を与え、多くの尊い市民の生命と財産を奪いました。

山津波が大規模な土砂や流木、浸水を発生させ、市内の各地で家屋の流失、道路や河川の崩壊、農作物の被害など、広範囲にわたり甚大な被害を受けました。

特に河川では、その至るところが上流部から流れてきた土砂で埋め尽くされ、屈曲した河川が直線的な河川となり原形をなくし、その復旧工事には、改良復旧のほか、赤谷川流域においては、権限代行による県管理河川の復旧工事を国が全国で初めて実施するなど、災害復旧事業自体が被災の甚大さを物語っています。

このような中、自衛隊、警察、消防、国土交通省ほか多くの関係機関の皆様や、延べ 5 万人を超えるボランティアの方々、そして国、県、他自治体から応援職員の皆様の災害対応へのご協力、また、国内外から物資、義援金など多くの温かいご支援を賜り、ここに改めまして心から感謝し、お礼を申し上げます。

今回の豪雨災害による被害は、想像を絶するほど甚大であり、復旧・復興はいまだ道半ばの状況です。一日も早い復興を成し遂げるため、平成 30 年 3 月に「朝倉市復興計画」を策定しました。元の平穏な生活と自然豊かな美しい朝倉を取り戻し、将来世代に渡って安心して暮らせるまちづくりを朝倉市民一丸となって取り組んでまいります。

将来世代に美しい朝倉を伝えるとともに、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」による被害と災害対応など当時の状況を整理し教訓としていただけるよう、災害の記録として取りまとめ、後世に伝えていくことにしました。災害の記憶を風化させることなく、二度とこのような災害がないことを願いつつ、発刊のあいさつとさせていただきます。



# 目次

## 巻頭言

---

発刊にあたって

## 第1章 気象の状況

---

- 1.1 平成29年7月九州北部豪雨の概況…………… 1-1
- 1.2 豪雨の実態 …………… 1-1
- 1.3 豪雨の発生要因 …………… 1-5
- 1.4 朝倉市に対する気象関連情報発表の経過 …………… 1-6

## 第2章 被災の概要

---

- 2.1 人的被害 …………… 2-3
  - (1) 死者・行方不明者・重傷者数の発生状況 …………… 2-3
  - (2) 死者・行方不明者の推定発生箇所 …………… 2-4
- 2.2 住家等建物被害 …………… 2-5
- 2.3 土砂・流木災害 …………… 2-7
  - (1) 土砂・流木の発生概要 …………… 2-7
  - (2) 土砂・流木の発生量 …………… 2-9
  - (3) 土砂・流木の発生と家屋・人的被害の関係性 …………… 2-12
- 2.4 公共土木施設等の被害 …………… 2-12
  - (1) 全体概要 …………… 2-12
- 2.5 河川の被害 …………… 2-15
  - (1) 河川被害の特徴 …………… 2-15
  - (2) 赤谷川等での河川被害 …………… 2-16
  - (3) 桂川・いないぼるがわ荷原川での河川被害 …………… 2-19
- 2.6 道路・橋梁の被害 …………… 2-23
  - (1) 被災直後の道路の通行止めの状況 …………… 2-23
  - (2) 道路被害の特徴（被災分析） …………… 2-23

(3) 表層崩壊・深層崩壊・土石流による道路の埋塞等	2-24
(4) 道路に隣接する河川による被害	2-26
(5) 橋梁の被害	2-27
2.7 ため池の被害	2-28
2.8 砂防施設の被害	2-29
2.9 森林部等の被害	2-30
2.10 農地・農業用施設の被害	2-32
2.11 文化財の被害	2-34
(1) 被災文化財の内容	2-34
(2) 被災文化財への対応	2-36
2.12 浄水場その他施設の被害	2-38
2.13 空から見た被災現場	2-40

## 第3章 初動対応

---

3.1 初動対応の概要	3-3
3.2 災害対策本部等の動き	3-6
(1) 災害対策本部体制の設置	3-6
(2) 対策本部の災害関連情報の入手・分析	3-8
(3) 外部支援の状況	3-10
(4) 避難勧告等の発令・伝達状況	3-10
(5) 災害対策本部への主な通報	3-13
(6) 朝倉支所、杷木支所の動き	3-15
3.3 消防、自衛隊、警察、海上保安庁の救助・捜索等活動	3-17
3.3.1 消防機関の対応	3-17
(1) 甘木・朝倉消防本部の対応	3-17
(2) 消防団の対応	3-18
(3) 消防庁及び緊急消防援助隊の活動	3-20
3.3.2 自衛隊の活動	3-22
3.3.3 警察の活動	3-24
(1) 福岡県警察による避難誘導・救助活動	3-24
(2) 警察災害派遣隊による避難誘導・救助活動	3-25
(3) 警戒活動その他	3-25
3.3.4 海上保安庁の活動	3-26

3.4 各地区・住民の動き	3-27
(1) 避難者数の推移	3-27
(2) 地区・住民の動きの事例（コミュニティ協議会への聞き取り結果）	3-27
3.5 国、県等の活動	3-50
3.5.1 国の活動	3-50
(1) 政府の対応	3-50
(2) 国土交通省の活動	3-51
(3) 農林水産省（林野庁、九州農政局等）の活動	3-56
(4) 環境省の活動	3-62
3.5.2 福岡県の活動	3-64
3.5.3 その他応援組織の活動	3-66

## 第4章 避難者・被災者への支援

---

4.1 避難所の開設・運営	4-1
(1) 避難所の開設	4-1
(2) 各避難所の避難者数のピーク	4-2
(3) 避難所の運営、避難者への支援	4-3
4.2 被災者への健康管理支援や高齢者等への支援	4-9
(1) 健康管理支援や高齢者等支援の概要	4-9
(2) フェーズ0の活動と支援機関・部署・協力団体等	4-10
(3) 保険師・管理栄養士の活動	4-10
(4) 避難所巡回スケジュールと巡回時の実施内容	4-11
(5) 栄養管理支援	4-12
(6) 要配慮者への支援	4-13
(7) 各支援チームの連携（ミーティング）	4-14
(8) 健康管理支援の状況と在宅訪問及び健康づくり支援	4-14
(9) 高齢者等への支援活動	4-15
4.3 応急仮設住宅の建設	4-17
(1) 応急仮設住宅の概要と建設経過	4-17
(2) 完成した応急仮設住宅	4-19
4.4 災害廃棄物等対策	4-20
(1) 初動体制の確立と初動	4-20
(2) 処理の流れ（可燃性混合物とその他の廃棄物）	4-22

(3) 各集積場の実態 .....	4-23
(4) 流木の有効利用・処理について .....	4-25
(5) 土砂の処理と有効利用 .....	4-27
<b>4.5 ボランティアの活動 .....</b>	<b>4-29</b>
(1) 朝倉市災害ボランティアセンター（VC）の時間経過 .....	4-29
(2) 朝倉市災害VCの組織体制と業務担当の人員配置 .....	4-31
(3) 朝倉市災害VCの空間配置 .....	4-32
(4) ボランティア活動状況の紹介 .....	4-33
(5) 「JA筑前あさくら農業ボランティアセンター（VC）」の開設と活動 .....	4-33
(6) 被災母子支援に関する取組その他 .....	4-34
<b>4.6 ライフラインの復旧 .....</b>	<b>4-36</b>
(1) 電力 .....	4-36
(2) 水道 .....	4-36
(3) 初動時の給水活動 .....	4-37
(4) 通信 .....	4-37
<b>4.7 義援金 .....</b>	<b>4-38</b>
<b>4.8 生活再建のための様々な支援制度の概要 .....</b>	<b>4-40</b>

## **第5章 公共土木施設・農地等の災害復旧**

<b>5.1 災害復旧事業の概要と災害復旧事業の流れ .....</b>	<b>5-1</b>
(1) 災害復旧事業の概要 .....	5-1
(2) 災害復旧事業の流れ .....	5-2
<b>5.2 公共土木施設の災害復旧 .....</b>	<b>5-4</b>
5.2.1 被害調査・報告と応急工事（査定前着工）の指導等 .....	5-4
(1) TEC-FORCE支援による被害調査・報告の概要 .....	5-4
(2) TEC-FORCEによる調査と報告の紹介 .....	5-5
(3) 応急工事（査定前着工）の指導（災害緊急調査を含む） .....	5-6
5.2.2 災害査定へ向けた準備と公共土木災害対策室等の開設 .....	5-7
(1) 災害復旧技術専門家による事前説明会実施等 .....	5-7
(2) 建設課災害復旧班（後の公共土木施設災害対策室）の開設 .....	5-8
(3) 公共土木施設災害対策室の開設 .....	5-10
5.2.3 災害査定とその結果 .....	5-10
(1) 災害査定の実施概要と査定効率化 .....	5-10

(2) 公共土木施設の災害査定の実施 .....	5-11
(3) 災害査定結果 .....	5-14
5.2.4 今回の災害復旧事業の特徴と福岡県の災害復旧事業計画の紹介 .....	5-15
(1) 国による河川の権限代行の実施 .....	5-15
(2) 施設の「全損」扱いや一定災の採択等 .....	5-16
(3) 福岡県の災害復旧事業計画の紹介 .....	5-19
5.2.5 応急工事の状況と本復旧へ向けて .....	5-21
(1) 応急工事の状況 .....	5-21
(2) 災害復旧事業の状況 .....	5-24
<b>5.3 農地・農業用施設等及び林道の災害復旧 .....</b>	<b>5-27</b>
(1) 農地・農業施設等の災害及び林道の災害とは .....	5-27
(2) 農地・農業用施設等の災害復旧事業の流れ .....	5-28
(3) 林道の災害復旧事業の流れ .....	5-28
(4) 災害復旧班の組織体制の推移 .....	5-29
(5) 農地改良復旧室の新設 .....	5-30
(6) 被害調査から災害復旧計画概要書の作成まで .....	5-31
(7) 災害査定 .....	5-37
(8) 災害査定結果概要 .....	5-40
(9) 応急工事と本格復旧へ向けて .....	5-42

## 巻 末

---

第 1 章 参考文献 .....	資-1
第 2 章 参考文献 .....	資-1
第 3 章 参考文献 .....	資-2
第 4 章 参考文献 .....	資-3
第 5 章 参考文献 .....	資-5
応援を頂いた自治体 .....	資-7

## コラム

---

アメダスとは（気象庁HPより）	1-4
線状降水帯とは（気象庁HPより）	1-5
解析雨量とは（気象庁HPより）	1-11
大雨特別警報とは（気象庁HPより）	1-11
記録的短時間大雨情報とは（気象庁HPより）	1-11
岩石の種類（JAMSTECのホームページ他参照）	2-9
風化による岩石の土砂化	2-9
流木と災害	2-12
河川区分とその管理者（国土交通省HP参照）	2-22
土砂災害の区分（地質情報ポータルサイトより）	2-25
道路の種類（国土交通省のHP参照）	2-27
柿（カキ）栽培の始まり	2-33
寺内ダムの効果	2-39
リエゾンとは？	3-14
DMATとは？	3-14
避難のためのマイスイッチ・地域スイッチ	3-49
300年前の災害が古文書に	3-49
避難行動の定量的分析	3-49
TEC-FORCEとは？	3-56
AAR Japan [難民を助ける会] とは？	4-8
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）とは？	4-8
D.Waste-Net（災害廃棄物処理支援ネットワーク）とは？	4-28
ボランティアの語源等	4-35
災害復旧制度の沿革（国土交通省のHPより）	5-26
（公社）全国防災協会のご紹介	5-26